

こんな手口に要注意!

※鹿児島県内で実際にあった事例を元に作成しています



ケース1 オレオレ詐欺 70代女性

自宅の固定電話に警察を名乗る人物から電話があり「あなたの使用している携帯電話が詐欺に使われており、あなたも詐欺師として疑われています」と言われた。その後、話を続けるうちにLINEでのやり取りに誘導され、捜査のためという名目でお金を振り込むよう指示された。指示に従い個人口座に8回にわたり振り込んでしまった。

被害額
4,800万円



▶ **ここをチェック!**

警察がLINEで通話したりお金を振り込ませることはありません。その時点で電話を切ってください。

ケース2 SNS型投資詐欺 60代男性

インターネット上で有名実業家を装った広告を見つけ、興味を持ちクリックしました。その後、LINEでやり取りを行うようになり、投資を学ぶよう誘導され必ず利益が出るなどと言われました。投資資金として指示されるまま、他人名義の口座へ9回にわたりお金を振り込んでしまった。

被害額
5,310万円



▶ **ここをチェック!**

必ず儲かるという旨い話はありません。つたない日本語や+(プラス)から始まる国際電話には注意。

ケース3 SNS型投資詐欺 70代女性

LINEで有名実業家の知人を名乗る人物を見つけ、信用して連絡を取りました。その後、投資に関する話を持ちかけられ成功例や必ず儲かると言われ安心してしまい、指示されるまま投資資金として他人名義の口座へお金を振り込んだり、犯人へ現金を手渡ししてしまいました。

被害額
7,500万円



▶ **ここをチェック!**

必ず儲かるなど、確実性を保証する表現は詐欺の典型パターンです。

ケース4 SNS型ロマンス詐欺 60代女性

Facebookでダイレクトメッセージを送ってきた男性と仲良くなりLINEを交換。一度も直接会ったことはないが交際関係に発展。その後「結婚資金を貯めるために良い投資がある」と持ちかけられ、投資サイトに案内されました。儲けが出たと言われたものの「税金が発生する」などと言われ18回にわたり暗号資産をだまし取られてしまった。

被害額
6,300万円



▶ **ここをチェック!**

一度も直接会ったことがないのに投資の話を持ちかけてきたら疑いましょう。

特集 その電話、本当に大丈夫? 身近に迫る特殊詐欺



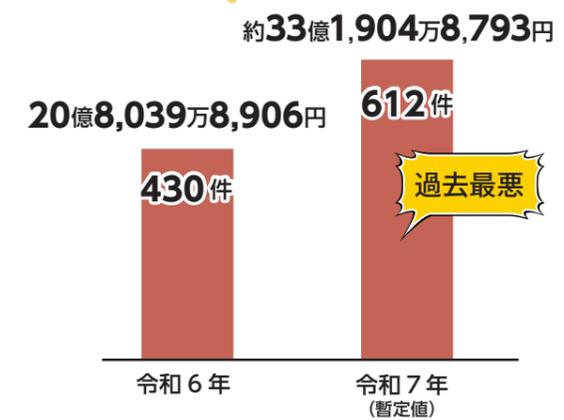
【昔と今で変わる特殊詐欺】

特殊詐欺の手口は時代とともに変化しています。2000年代前半は電話で親族を名乗り現金を要求する「オレオレ詐欺」が中心でした。近年ではSNSやメールを使った架空料金請求、公共機関を装って手続きを促す還付金詐欺、キャッシュカードをだまし取る手口などが増えています。連絡手段が多様化し、より巧妙になっているため、油断せず注意が必要です。

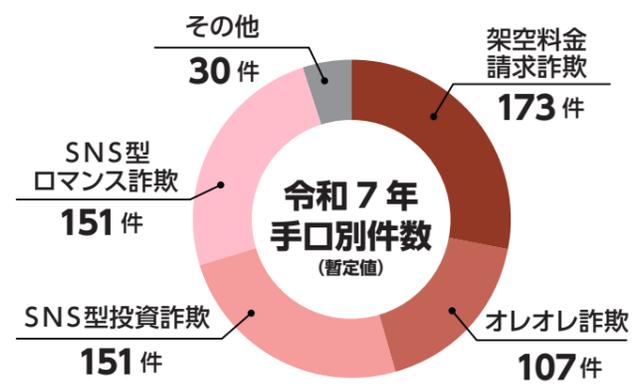
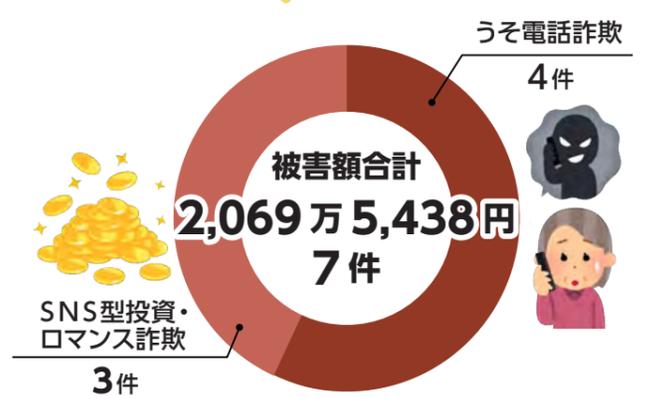
【特殊詐欺とは】

電話やはがき、メールなどで親族や公的機関の職員などをかたり、現金やキャッシュカードをだまし取る犯罪のことです。被害に遭った人の多くは、「私は大丈夫」「自分がだまされるわけない」といった思い込みから、犯人の言葉巧みな手口にだまされ被害に遭うケースが後を絶ちません。

県内の詐欺被害額・件数



令和7年 市内の詐欺被害額・件数



令和7年の被害(暫定値)は県内で612件(被害総額約33億1,904万8,793円)、市内で7件(被害総額:2,069万5,438円)でした。身近に迫る特殊詐欺にどう対処すれば良いのか。次は実際の手口を例にそれぞれの対処法を紹介します。

増え続ける特殊詐欺

—警察官に聞く—



曾於警察署 生活安全刑事課
石田 祐治朗さん

【「自分は大丈夫」と思っていてもなぜ被害に遭うのか】

詐欺師は「この電話を切ると逮捕します」「今すぐ支払えばこの金額で済みます」など言葉巧みに、緊急や不安をあおります。電話を受けた方は身に覚えが無くても冷静な判断ができなくなりお金を振り込んでしまうケースが多いです。

【家族や周囲の人が気を付けるポイントは】

「変わったことは無かった?」「何かあったらすぐに相談してね」と定期的に声をかけることが大切です。お金や契約の話が出たら一人で決めない。すぐに電話を切る。警察に相談するなど事前に対応を決めておくのも被害防止に繋がります。

【現在の特殊詐欺の傾向は】

SNSや+プラスから始まる国際電話を使用した詐欺が多いです。投資話や未納料金の請求、公的機関を装い不安をあおり金銭をだまし取る手口です。またSNSを使用した手口の増加により高齢者に限らず、若年層の被害も増えています。

【怪しい電話やメッセージが来た時、どうしたらいい】

無視をすることが大切です。もし電話に出してしまった場合でも、慌てずに電話を切ってください。警察や公的機関が電話でお金を振り込ませることは絶対にありません。

消費者トラブルの現場から

—被害防止のポイント—



曾於市消費生活センター
井之上 佐由美さん

【消費生活相談ではどんな相談ができる?】

消費者と事業者の契約などのトラブルについて相談できます。原則、トラブルにあった本人から話を聞きますが、病気などの理由で本人からの相談が難しい場合は、家族や介護をしている方からの相談も可能です。

【契約や購入前に特に気を付けてほしいことは?】

あまりにも条件が良い、金額が非常に安いまたは無料などお得感が強調されている場合は注意が必要です。申し込む前に、契約・解約条件や会社情報に不審な点がないかしっかりと確認しましょう。

【最近、多い相談内容は?】

定期購入や偽サイト、海外の悪質通販サイトなど、インターネット上での契約トラブルに関する相談が全体の約35%を占めています。また太陽光発電や蓄電池、電気温水器の訪問販売、不用品買取りなどの相談も増えています。

【電話や訪問などの勧誘にどう対応する?】

「ごうです」「結構です」のように曖昧な断り方は禁物。少しでも不審に感じたら、早めに「いいません」「契約はしません」とはっきりとした言葉で断りましょう。勧誘を断った消費者に対してさらに勧誘を続けることは、法律で禁止されています。

【市民の皆さんに伝えたいこと】

自分は絶対に詐欺に引っつかからないという慢心は捨て、特殊詐欺の手口について日頃から調べておきましょう。鹿児島県内の令和7年の詐欺被害件数を見ると1日1回以上、誰かが被害に遭っていると換算できます。それだけ詐欺が蔓延し、危険が身近に迫っているということを知ってほしいです。

あやしいと思ったらすぐに相談!

鹿児島県警 犯罪抑止対策室 公式X

警察相談専用窓口 ☎#9110

曾於警察署 ☎099-482-0110

犯罪発生状況や犯罪被害防止の情報を発信中

【相談のタイミングは?】

少しでも早く相談すればそれだけ解決できる可能性は高くなります。クーリング・オフやそれ以外の解約方法にはそれぞれ期限(時効)があり、早めの相談が被害を防ぎます。

【相談はどのような流れで受け付けている?】

電話や来所で相談を受け付けています。詳しい話を聞きアドバイスやあつせん(消費者と事業者の間に入り話し合いのお手伝いをして解決を目指す方法)を行います。契約関係の書類(契約書・見積書・インターネットの場合は注文画面や確認画面の写真など)を用意しておくこと相談がスムーズに進みます。

どうしよう、困った時は...

曾於市消費生活センター ☎0986-76-8823

消費者ホットライン ☎188

最後に...

大人版 「いかのおすし」

覚えておきましょう!

- い かない
- か わない
- の らない
- お さない
- す ぐし

相手の言いなりのままATMには行きません
相手に言われて電子マネーは買いません
うまい話には絶対に乗りません
怪しいサイトやURLを押しません
おかしいと思ったら家族や警察に、すぐ相談



曾於市安全安心協会と曾於警察署が地域の安全や防犯を呼びかけるために設置している看板

海外からの電話をブロック

国際電話不取扱受付センター ☎0120-210-364

固定電話で国際電話を利用しない場合、国際電話の発信・着信を停止する申し込みができます。

詳細はこちら